

ボレロ *Bolero*

作曲：モーリス・ラヴェル Maurice Ravel ()

組 番 氏名

管弦楽の魔術師ラヴェルが、バレエ音楽「ボレロ」で表現したかったものを探ろう

♪ 次の4つの音楽の要素について、印象に残ったこと・気づいたこと・気になったことを記入しよう。

音色

リズム

旋律

構成

☆交流しよう

新たな発見や疑問

♪ボレロとは…？

1870年頃、()の有名な舞踏家S.セリソが創作した舞踏。キューバにも似たようなリズムの舞踊があるが、ラヴェルは()の舞踊の方を元としている。

リズム名

() ————— |————— ||

♪作曲者について



ラヴェルの肖像画

モーリス・ラヴェル〔1875～1937年〕は()出身の作曲家で、ロマン派後期に()として活躍した。母はフランス領バスク地方の血統で、彼が生まれたのも()との国境近くの村であることから()の影響が見られる作品も多く、この《ボレロ》もその一つである。

ドビュッシーと双璧をなす作曲家といわれているが、()への敬意を重んじ、さらに異国趣味やジャズなど新しい要素を融合し、独特の世界をつくりあげた。また、繊細な響きを特徴としたピアノ曲も多数残した。さらに、管弦楽法に精通していたラヴェルは、自作の管弦楽曲をはじめ、ムソルグスキーのピアノ曲《 》などのオーケストラ編曲でも知られる。

ピアノ曲：《水の戯れ》 《夜のガスパール》
管弦楽曲：《亡き王女のためのパヴァーヌ》 《マ・メール・ロワ》
バレエ音楽：《ダフニスとクロエ》 《ラ・ヴァルス》

